

小規模多機能ホーム きいちご倶楽部

令和2年度第6回 地域運営推進会議 記録

3月25日15時からZOOMでのオンライン会議を行った。

参加者：出雲市高齢者福祉課1名、出雲市高齢者あんしん支援センター1名、地域代表者1名、福祉の知見のある者1名、きいちご倶楽部管理者、法人理事長

配布資料にしたがって報告を行った。

- ① 会議資料（本資料）
- ② 小規模多機能型居宅介護サービス提供状況報告書
- ③（外部評価）地域かかわりシート②
- ④（外部評価）令和2年度サービス評価総括表

<令和3年2月からの改善計画に対する実施事項>

| 評価項目 | 今年度の改善計画 | 2月～3月の実施事項 |
|-------------------------|--|---|
| A. 事業所自己評価の確認 | 職員間でスムーズに情報が行きわたるように、また情報共有が円滑に進むように、会議、ミーティング、連絡ノート、記録等で検討し実施していく。 | 2月、3月の職員会議では、夜勤明けや休みの職員が複数名、自宅からZOOMを使って参加しました。対面による方法とほぼ同様に参加することができました。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | 清潔面・避難経路の維持のために、物品整理、掃除等をおこない環境整備をおこなっていく。 | 所内の感染対策は継続して行っています。ご利用者と花壇の花を摘んで所内に飾ったりしています。テラスに来る鳥に餌を置いて、毎日食べに来るのを見たりして楽しんでいただいています。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | 法人（グループホーム・保育園）と連携をとりながら、自治体や地域でおこなわれる行事等の情報収集をおこない、地域との接点を増やしていく。 | 法人内の保育園の卒園式にご利用車と作ったお祝いの壁飾りをご利用車と持ってゆき、壁に飾っていただきました。後日、卒園した子供たちがお礼のあいさつに来てくれて、テラスとリビングに分かれてですが、ご利用者と交流されました。 |
| D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | 地域行事・活動に積極的に参加しながら社会資源の活用を図る。問題が生じれば、自治体や地域包括支援センターとも協力しながら解決に向けて取り組む。 | 3月末に町内の溝掃除が計画されており、それに参加する予定です。ご利用者の方で権利擁護センターと継続的に連絡を取りながら支援しているケースがあります。センターからの支援をきいちごの場所を使ったり、資料のやりとりの仲介をしたりしています。 |
| E. 運営推進会議を活かした取組み | 運営推進会議を通じて、情報の発信、また意見・アドバイスをもらい、地域に開かれた事業所を目指す。改善計画の実行の状況を運営推進会議に報告する。 | （本報告） |

| | | |
|--------------------|--|---|
| F. 事業所の 防災・災害対策 | 様々な災害を想定し、対応できる防災計画を作成し、定期的に防災訓練をおこなう。地域との連携にも努めていく。 | 12月23日に火災避難訓練を行いました。今年入職した職員が夜勤中に万一のことが起きた場合を想定して、基本的な動きを確認しました。また所内の物品や電気系統など火災の原因となる可能性のある箇所を点検して、掃除や整理整頓など行いました。 |
|--------------------|--|---|

<ご利用者の状況>

1. 登録状況

3月25日現在、20人の方に利用登録いただいています（登録定員：25人）

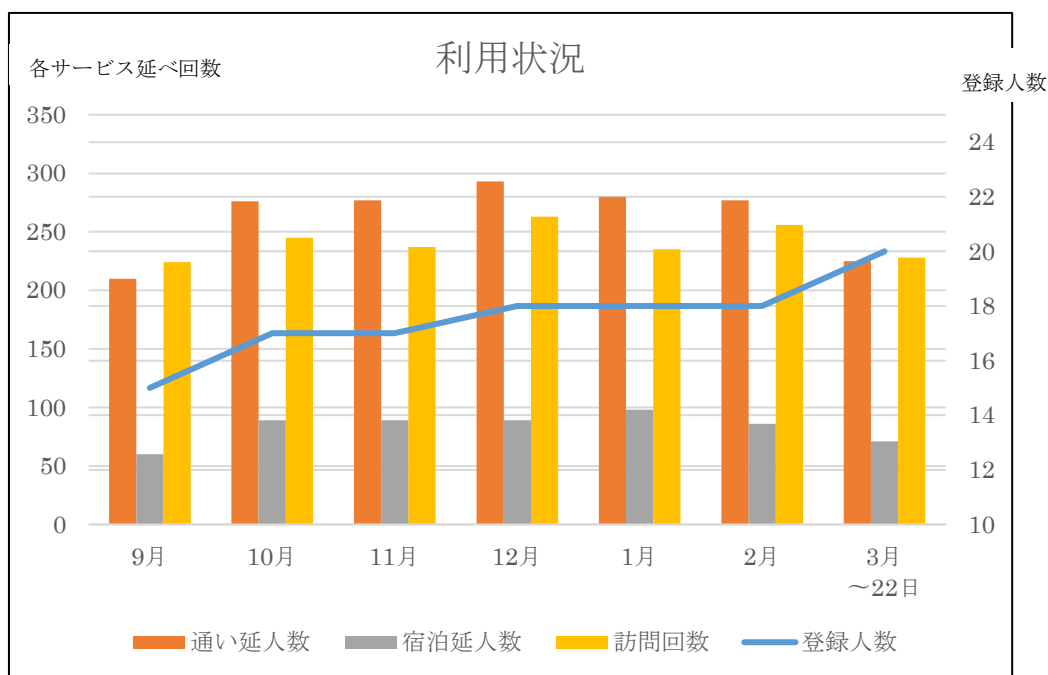
要介護度と男女別の人数は次のとおりです。平均要介護度：2.1

| | 男性 | 女性 | 計 |
|------|----|----|----|
| 要支援2 | 1 | 0 | 1 |
| 1 | 2 | 4 | 6 |
| 2 | 1 | 6 | 7 |
| 3 | 0 | 3 | 3 |
| 4 | 1 | 1 | 2 |
| 5 | 0 | 1 | 1 |
| 計 | 5 | 15 | 20 |

年齢と男女別の人数は次のとおりです。平均年齢：81.1歳

| 年齢 | 男性 | 女性 | 計 |
|------|----|----|----|
| 60歳台 | 1 | 1 | 2 |
| 70歳台 | 1 | 3 | 4 |
| 80歳台 | 3 | 7 | 10 |
| 90歳台 | 0 | 4 | 4 |
| 計 | 5 | 15 | 20 |

2. サービス提供状況の推移（登録人数、通い、泊まり、訪問）



別紙「小規模多機能型居宅介護 サービス提供状況報告書」も参照してください

委員からの質問：9月には15人くらいに利用者が減っているが、何が原因か？

回答：4月から9月にかけて、それまで自宅での生活を頑張って継続しておられたが、グループホームにうつられた方、体調の悪化や転倒で入院された方、自宅でなくなられた方が続きました。加えて、ちょうどコロナ禍のために積極的に病院や居宅ケアマネを訪ねて新しいご利用者の受け入れについて相談させていただくことができなかった。

3. 「外部評価」について

前回の会議において各評価項目について挙手するなどして評価していただきました。

その結果を別紙「地域かかわりシート②」にとりまとめております。「総括表」はその内容を集約したものになっております。

地域かかわりシート②および総括表の原案を審議いただき、一部修正のご意見のとおり修正して外部評価とすることです承をいただいた。

修正のご意見：事業所自己評価で前年よりもマイナスの評価が出されている状況が記されているが、それについて、マイナスのことばかりでなく、「ケアプランや個別計画書を職員も参照して支援内容を共有することができるようにする」との積極的な取り組みを記した方がいい。